

「女性の活躍促進・企業活性化推進営業大作戦」

東京労働局長(西岸 正人)の企業訪問

平成 26 年 12 月 19 日、東京地下鉄株式会社

常務取締役 村松 與章氏をお訪ねしました。



ポジティブ・アクション普及促進の
ためのシンボルマーク「きらら」



常務取締役 村松 與章ともあき氏

東京地下鉄株式会社

代表取締役社長 奥 義光

・東京都台東区東上野 3-19-6

・労働者数 9,158 名(うち女性 338 名)

※平成 26 年 3 月 31 日現在就業人員

<訪問のあらまし>

○首都圏の公共交通機関として信頼される企業

当社は、東京都区部を中心に 9 路線 195.1km の地下鉄網を運営し、このうち 7 路線で他社と相互直通運転を実施していることから、これを含めるとそのネットワークは合計で 500km 超となる首都圏の広域鉄道ネットワークの中核を担っています。

中長期的には少子・高齢化が進み、人口が減少していくことが予想されますので、例えば地上から地下の駅につながるエレベーターの設置といったバリアフリー設備を進めていますし、ホームドアの設置、ワンマン運転路線の創設などにより、将来社員が減少した時にもサービスの質を落とすことなく安全を確保しつつ、また社員も過重労働とならないようにするため、将来を見据えた準備を進めています。

○女性社員をめぐる状況

事業の中心となる鉄道現業部門においては、運輸部門である「駅」に配属される人員が一番多く、労働法制の変化(女性の深夜業の解禁等)もあり、現在は男女同じ勤務ができるようになりましたので、女性も男性と同じように朝から翌朝までの 24 時間泊まり勤務もして活躍しています。

ただ、「駅」の職場はほとんど地下です。地下鉄は地上の鉄道と違い、道路下占有の問題などがあって駅構内の女性用施設設置工事が簡単にできず、女性駅係員の拡充が思うように進みにくいという面はあります。

車掌や運転士などの乗務員へは、まず駅係員として接客を経験した後に職種転換させるという形をとっていますが、この職種を希望する女性はまだ多くはないのが現状です。転換のためには運転取扱いの他、車両や電気などの試験もありかなり難しいですが、果敢に挑戦し、女性も年間数名程度が転換しています。

このほか、車両、電気設備、線路などの保守の仕事もあります。応募は非常に少ない現状ですが、ここでも女性は少ないながらも活躍しています。

○女性社員活躍への取組

女性社員については、約3年前から10年後の姿を描きながらより積極的な採用を行っています。

中でも鉄道現業部門の女性社員を増やすべく、採用計画とあわせて女性の宿泊設備等の拡充を計画的に行い、女性の駅係員については現在の2倍程度まで増やすことを目指しています。

女性の活躍を進めるに当たっては、設備面だけでなく、安全面の課題もあります。深夜、誰もいない改札に女性が1人である場合、その人を守るためにガードマンをつけなければならない

といったことも実際発生していますので、例えば最低4人泊まるメンバーがいる駅で、そのうち半分までなら女性を配置できる、といったことを考慮しつつ、設備の整備と併せて対応しています。

また、長らく男性中心の職場だったことから、女性の部下を持つ上司を対象としたセミナーなども定期的にも実施して、管理職の意識啓発にも努めています。



(左) 常務取締役 村松 興章氏

(右) 人事部ダイバーシティ推進・採用担当課長 増田 英子氏

○今後に向けて

地上の鉄道にはない制約があるための困難な課題もありますが、上記のような取組とともに、今いる女性社員が出産等を経ても働き続けて活躍してもらえるよう、育児休職中の女性社員を集め外部講師を招くなどして職場復帰を支援したりもしています。

これからも首都圏の公共交通機関として期待される役割を果たしていくために、当社では「安心」「成長」「挑戦」の3つのキーワードに基づき様々な取組をしていますが、社員に関しては「社員とともに走る東京メトロ」ということで、一人ひとりがいきいきと働ける職場づくりに取り組んでいます。その一環として、今後も、車掌、運転士、技術などの現業部門への配属や管理職への登用など、女性の活躍促進についても継続して取り組んでいきたいと考えています。

.....

東京労働局長より、「ポジティブ・アクション応援サイト」、「女性の活躍推進宣言コーナー」の登録、ご活用をお願いしました。

(参考)

ポジティブ・アクション応援サイト

<http://www.positiveaction.jp/pa/index.php>

女性の活躍推進宣言コーナー

<http://www.positiveaction.jp/declaration/>

